

生涯健康研究部

エビデンスに基づく**施策形成支援**

母子保健
向上

生活習慣病
対策

介護予防

エビデンスに基づく**保健活動の推進**



【部のミッション】

生涯を通じた**健康**の保持・増進に向けた
調査研究と人材育成

主な研究課題

① エビデンスに基づく生活習慣病対策に関する研究

健診・医療・介護等データベースの活用による地区診断と保健事業の立案を含む生活習慣病対策事業を担う地域保健人材の育成に関する研究(厚生労働科学研究費補助金)他

② エビデンスに基づく保健活動の推進に関する研究

保健師活動指針の活用に係る現状と課題(地域保健総合推進事業)他

③ 母子保健の向上に関する研究

妊産婦・乳幼児を中心とした災害時要援護者の福祉避難所運営を含めた地域連携防災システム開発(厚生労働科学研究費補助金)他

④ 介護予防(歯科口腔保健)に関する研究

高齢者の効率的歯科介入ニーズ評価法を用いた歯科と多職種連携栄養サポートプログラム(科学研究費補助金)他

主な研修課題

- 専門課程Ⅱ
 - 地域保健福祉分野
 - 生物統計分野
- 専門課程Ⅲ
 - 地域保健福祉専攻科
- 短期研修(地域保健に関する分野)
 - 生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(研修計画編)(事業評価編)
 - 児童虐待防止研修
 - 公衆衛生看護管理者研修(中堅期)
 - 公衆衛生看護管理者研修(管理期)
 - 健康日本21(第二次)推進のための栄養・食生活の施策の企画・調整に関する研修
 - 健康・栄養調査の企画・運営・評価に関する研修
 - 特定疾患医療従事者研修(保健師等研修)

研究成果を用いた実践・人材育成の展開例【1】

研究成果をもとに自治体職員向けの
地域診断ツールを開発、研修で提供

全都道府県・全市区町村 特定健診リスク因子(年齢調整値) 地図作成キット

(2012年度・協会けんぽのデータ入り
⇒国保等のデータと簡単に統合可能)

年齢階層別(40-64歳、65-74歳、計)・18指標

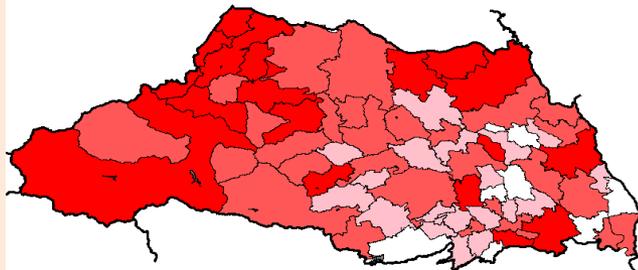
腹囲 ≥ 85 (男)/ 90 (女)cm
BMI ≥ 25 kg/m²
空腹時血糖 ≥ 100 mg/dl

空腹時血
HbA1c \geq
中性脂肪
HDLコレ
LDLコレ
収縮期血
拡張期血
血圧高値
高血圧(服薬中)
高血圧の重症高血
喫煙者の
メタボリック
メタボリック

全国市区町村SMR地図

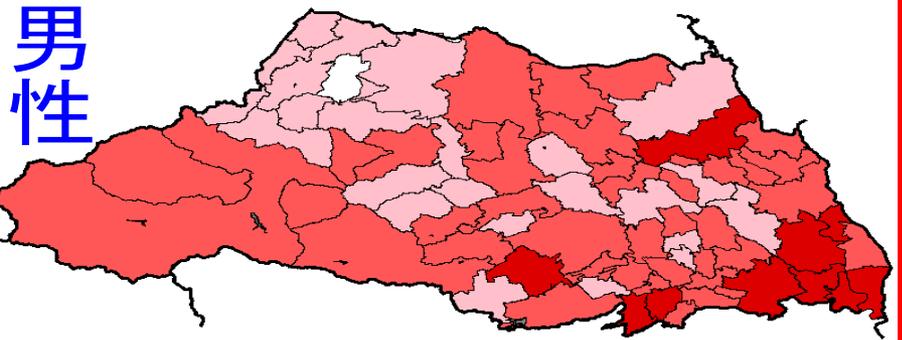
埼玉県 男性
脳血管疾患SMR(平成20-24年)

○ 検定不能 ○ 有意に低い ○ 低い有意でない ○ 高い有意でない ○ 有意に高い



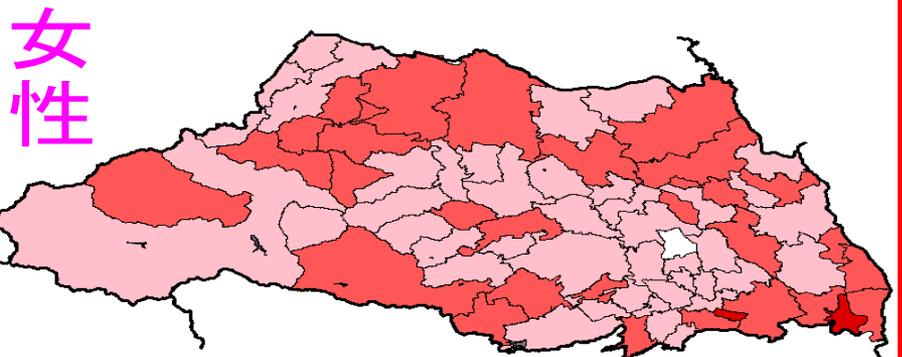
埼玉県
標準化該当比(基準:全国)(男性・40-74歳)
腹囲 ≥ 85 cm

■ 少数非表示 ○ 有意に低い ○ 低い有意でない ○ 高い有意でない ■ 有意に高い



埼玉県
標準化該当比(基準:全国)(女性・40-74歳)
腹囲 ≥ 90 cm

■ 少数非表示 ○ 有意に低い ○ 低い有意でない ○ 高い有意でない ■ 有意に高い



研究成果を用いた実践・人材育成の展開例【2】

研究成果を研修に反映

(健康日本21(第二次)推進のための栄養・食生活の施策の企画・調整に関する研修)

国立保健医療科学院 短期研修

健康・栄養調査の企画・運営・評価に関する研修

“ガイドライン”
の開発と提供

健康・栄養調査を用いた各種計画の
評価のための統計解析法

指標:	野菜の摂取量の増加(1日当たり平均)		
目標値:	350	g以上	
	290	ベースライン時	
年次	平成9年		
調査名	H9年〇〇県民健康・栄養調査	H16年〇〇県民健康・栄養調査	H21年〇〇県民健康・栄養調査
調査人数	500	600	550
平均値	285	280	296
標準偏差	165	158	167
標準誤差	7.379024326	6.450322989	7.120903926
90%信頼区間	(272.9, 297.1)	(269.4, 290.6)	(284.3, 307.7)
片側P値(vs.目標値)	-	0.000	0.000
ベースライン時との差	-	-5	11
標準誤差		9.800850303	10.25462202

分析ツール
の開発と提供

・健康日本21(国および都道府県)の評価・推進に応用

保健医療科学

Journal of the National Institute of Food and Nutrition

第61巻

Vol.61 No.

「保健医療科学」を
通じた情報発信

特集：健康日本21(第二次)地方計画の
推進・評価のための健康・栄養調査の活用

巻頭言 (横山徹爾)
健康政策の推進・評価における国民健康・栄養調査—長期モニタリングとしての役割と歴史—(総説)
(吉池信男, 市村喜美子)
健康日本21(第二次)の目標設定における国民健康・栄養調査(総説) (西信雄, 奥田奈賀子)
健康日本21(第二次)地方計画における都道府県等健康・栄養調査の役割と今後の課題(総説)
(石川みどり, 横山徹爾)

○有意な変化はみられなかった(片側P値=0.126)。

(2)データ等分析上の課題

このほかにも、研究成果を活用したツールを
「地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握
のための参考データ・ツール集(国立保健医療科学院)」
<http://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/datakatsuyou/>
にて、多数紹介しております！

(5)今後の課題及び対策の抽出
・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載。

○毎日野菜料理をたっぶり(1日小鉢5皿、350g程度)食べることについて「するつもりはあるが、自信がない」と回答した人の割合は30.5%、「するつもりがない」は7.2%であり、対象者の状況に合わせた支援が必要である。